

# UNIVERSITY OF BIRMINGHAM



## バーミンガム大学 University of Birmingham

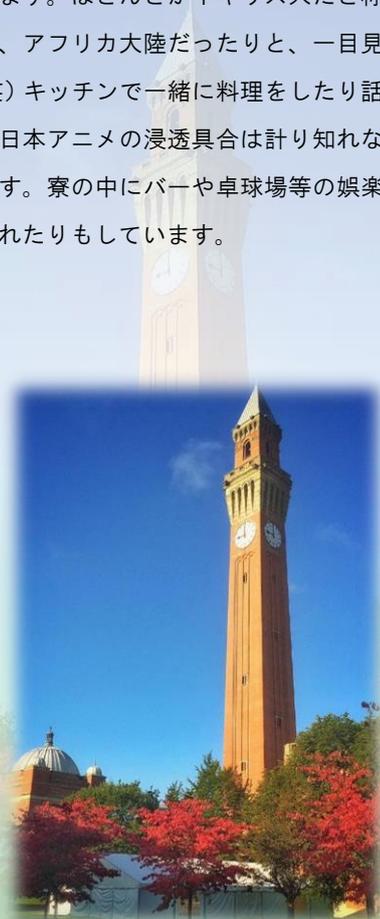
イギリス名門大学の証であるラッセルグループのメンバーであり、歴史上に 8 人のノーベル賞受賞者を輩出してきた大学です。150 か国以上からの留学生に加えて教授陣も海外出身者が多いため、開講されている講義の分野の幅も広く、まさに国際色豊かな環境の中で自分の興味を広げ深めていく絶好の場所です。

**Study** 一つの授業につき、レクチャー1時間とディスカッションセミナー1時間が用意されており、計 6 つの授業を履修することができます。授業はあくまで内容の確認や質問議論の時間に使われ、勉強自体は予習リーディング教材として与えられるものを自主的に勉強するスタイル (self-directed) です。講義は年間を通して計 22 週あり、1 年間の総まとめとして全範囲から出題の期末テストが行われます。5 月から 6 月上旬がそのテスト期間に当たります。エッセイ提出のみの授業もありますが、どちらの場合においても基本的に授業中の参加率や貢献度等を評価されることはなく、大きいエッセイやテストの点数がそのまま成績になります。大学にも学生にも純粋に学問を追究しようという気概が感じられ非常に刺激的です。多様な英語のアクセントに苦しむことは多いですが、GCP で学んできた英語やエッセイを書く力が自分の大きな財産になっていることを実感しています。

**Life** 学内の学生寮で暮らしています。部屋は 1 人部屋ですが、15 人でキッチンシェアし、シャワールームは数人でシェアしています。ほとんどがイギリス人だと称していますが、ルーツは北欧やインド、ブラジル、アフリカ大陸だったり、一目見ただけでは出身が分からないような状態です。(笑) キッチンで一緒に料理をしたり話をしたりと非常ににぎやかに生活をしています。日本アニメの浸透具合は計り知れないものがあり日本人顔負けのアニメ通が大勢います。寮の中にバーや卓球場等の娯楽施設等があり、年間を通して交流イベントが行われたりもしています。



**Food** 基本的に自炊しています。イギリスは食べ物が美味しくないと日本で噂されることがありますが、基本的に何料理でも食べられますし美味しいです。さすがに日本料理には勝てませんが(笑) 大学のすぐ近くにオリエンタルショップがあり、そこで日本や中国、韓国等の食材や調味料を購入することもできるので、自炊をすれば安価で親しみのある味に触れることもできます。



**Birmingham (バーミンガム)** は産業革命の要所となった都市で、現在もロンドンの次に大きな都市として経済や商業の中心地となっています。ここ数年特に、グローバルな都市への発展に向けて開発が行われています。しかし、そんな街の中にも長い歴史を感じさせる教会やミュージアムがあり、イギリスの伝統を感じることもできます。バーミンガムはイギリスのおおよそ中央部に位置し空港も整備されているため、イギリス国内はもちろん、ヨーロッパを旅行するには最適の立地です。イギリスの特徴でもあるのですが、街の中心から 1 駅か 2 駅もいけば、草木が豊かで落ち着いた雰囲気のある住宅地が広がっており、住むにも非常に快適です。